

平成30年度地方創生関係交付金事業 事業評価一覧

資料5

※〇〇委員・・・事前評価担当委員

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
1	つくば等の科学技術を活用した成長産業創出プロジェクト (科学技術振興課, 技術革新課, グローバル戦略チーム) 木ノ本委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見等	事業①及び事業②について、KPIが指標値を上回っており有効と評価できる。 ①②は継続支援によって一層の効果が期待されるが、中間評価にあたり、従来の取組みから得られた改善点の反映にも期待したい。 事業③について、KPIの達成状況からも、計画通りに交付金事業として終了することに異論なし。	
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	本事業開始当初に想定されていたロボットやIoTなどの次世代技術の対象分野、またニッチトップ対象分野の国際市場シェアなど、変化が激しい分野であるだけに施策とズレが生じていないか、協業先やマーケットサイドから常時検証が必要と思料。 また、事業③で展開された日・英ポータルサイトがターゲットにリーチできているかの検証が必要であり、ポータルへの誘導が課題とすれば、ポータルに限らない営業媒体の追加検討も有効と考える。	ロボットやIoTなどの次世代技術の対象分野については、メーカー、ユーザーだけでなく、ロボット研究者等の有識者と市場動向や施策を随時検討しながら進めているところであり、今後も最新のテクノロジーの動向やニーズ等を把握しながら、社会課題の解決や産業振興に取り組んでいく。 また、ニッチトップ対象分野は変化が激しい分野であることから、引き続きJETROや関係金融機関等のアドバイスも頂戴しながら、本事業の成果である開発機器等のブラッシュアップ及び販路開拓の支援を進めることで、市場ニーズに応えていきたいと考えている。 事業③については、外資系企業向けのポータルサイト（日・英）は、H30年度に開設したところであり、今後は内容を充実するとともに、QRコードを活用するなどターゲットとなる外資系企業への更なるアクセスの向上を図る。また、ご指摘のとおり、ポータルサイトだけでなく、外資系企業の研究開発拠点等の誘致のために有益な営業媒体を積極的に取り入れていきたい。
2	いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト (科学技術振興課) 木ノ本委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	KPI達成率の大小より、本事業を通じて企業創出や新規参入が1社でも着実に増加する意義は大きいと思料。KPI④に関して、プラットフォームをエコシステムとして確立し、当初から自立化の想定も必要と考える。	宇宙ビジネスを地域産業とするためにはエコシステムの確立が必要であり、本県がプラットフォームにおける相談対応の体制を整備していることを機運醸成イベント等で周知し、新たな企業等を本県に呼び込む考えである。 将来的にはプラットフォームの自立化を目指しているが、現時点においてはエコシステムを形成できるほどの集積が図られていないため、引き続き、プラットフォームによる相談体制を確立を図る。 また、企業を中心としたコンソーシアムを設置して、宇宙ビジネス（起業や資金調達等）に詳しい専門家を配置し、企業等の相互連携を推進しながら、企業等が有する事業構想のブラッシュアップと試行錯誤の共有を図り、自立して事業化できるようなエコシステムの確立に向けて動き始めている。
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	「宇宙ベンチャー」を掲げるユニークな施策ながら、全国でどれほど認知されているか。新規参入者の雇用ニーズに応える県内人材の有無(ストック)やJAXA等との連携メリットのほか、製造・サービスなどのターゲット業種の明示など、参入を促したいビジネスのイメージ強化も必要と考える。また、連携や誘致の対象として外国・外資系企業も雇用創出に貢献可能と思料。	内閣府から、地方における宇宙ビジネスの裾野拡大を期待されて「宇宙ビジネス創出推進自治体」に選定されたほか、日本最大の宇宙カンファレンス「SPACETIDE」や宇宙ベンチャーや企業、研究者等が参加する「ニュースペース研究会」にパネリストとして登壇し、本県の施策の広報と企業の誘引に取り組んでいるところである。 そのような取組が契機となり、昨年に引き続き開催した機運醸成イベントは、参加者が40%以上増加（200名→290名）し、そのうち75%が初参加であり、県外からも100名以上が参加。 本県には日本最大の宇宙開発拠点である「JAXA筑波宇宙センター」や超小型人工衛星の開発実績を有する筑波大学をはじめとする国の教育・研究機関が29立地しており、豊富な人材が揃い、各機関との実質的な連携も可能である。 今後は、研究機関の集積を強くアピールするとともに、企業連携による事業構想の事業化に資する施策をもって、本県が参入を促したいビジネスのイメージ強化を図りつつ、官民連携によるブランディングを目指す。 宇宙ビジネスは本県、国内の市場に閉じたものではないため、本県の多様な施策や研究機関の集積を強みとして、外国・外資系企業等との連携も検討したい。

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
3	いばらき伝統的工芸品産業イノベーション推進事業 (産業政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">木ノ本委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	KPI①及び②が指標値を大幅に上回る結果であり、有効と評価できる。 ③の結果に留まった理由として、①の販路開拓との連続性の欠如が挙げられているが、課題認識以上の対策は示されていない。生産者の体力など別の課題についても仮説は立つが、この点をクリアにし、③の指標達成を期待したい。	KPI①（商談成立件数）、KPI②（新商品開発支援件数）については全ての産地（結城紬・笠間焼・真壁石燈籠）が産地ごとの指標値を超える成果を挙げたところです。 しかしながら、KPI③（生産額の増）については笠間焼のみが前年比30百万円の増であり、結城紬については33百万円の減、真壁石燈籠については4百万円の減であったことから目標を達成することができませんでした。 結城紬、真壁石燈籠産地の生産額減少については、①消費者ニーズの変化、②従事者数の減少などが主要因として考えられます。そのため①への対応として新商品の開発、②への対応として後継者育成等を本事業を通じて行ったところですが、残念ながら目標を達成することができませんでした。 一方、交付金事業終了後も、産地事業者が主体的に後継者育成や新商品開発さらには販路開拓事業を進めていることから、今後とも産地のニーズや課題の把握に努め、効果的な支援を行うことにより生産額の増に向けた取り組みを発展させてまいります。
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	①の商談までがゴールではなく、成約に至らなかった場合はその理由を整理し、今後の商談や新商品開発に活かすことが不可欠。一方で、成約に至った場合はプロモーションを徹底し、産地が活気づけば後継者育成のモチベーションにもつながると思料。プロモーションの手法は多々あるが、この事業が自立的に産地内でまわることを考えれば、ブランディングまで実行できるとなおよいと考える。	各産地ではデザイナー等の支援により「MAKABE STONE」「KASAMA POTTERY」「変わり織の帯」ブランド（シリーズ）による商品開発・販路開拓を進めてきたところです。今後は各産地において、これらのブランド（シリーズ）を活かした販路開拓の取組を進める予定であり、県としても、これまでの商談会等で得た課題や成果を踏まえ、必要な支援・助言を行ってまいります。
4	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業 (産業政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">木ノ本委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	いずれのKPIも指標値を大幅に上回る結果であり、有効と評価できる。	
		今後の方針	特に見直しをせず、事業を継続	特に見直しをせず、事業を継続
		意見	成約率向上のため、採用に至らなかった案件のフォローや、採用された人材の定着に向けて、引き続き対応いただきたい。	

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
5	いばらき創業10,000社プロジェクト事業 (技術革新課) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">寺門委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	<p>開業件数については、KPI大幅未達（29%）となったものの、開業率は全国的に低下傾向にある中、比較的高水準に位置（全国8位）しており、取組みの成果は現れている。</p> <p>若い世代（大学生等）に創業に対する機運の醸成を図ることは、将来の開業件数増加に繋がることから、大学等における創業講座の開設は有効な取組みであると考えます。</p>	
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	<p>KPI大幅未達の状況にあり、本事業のPRの仕方、関係主体との連携のあり方、アントレプレナーセミナーのあり方、事業計画指導体制等々、見直しが必要。（目標の見直しも要検討）</p> <p>大学生ビジネスプランコンテストの参加者の事業プランの継続的なフォローアップも必要。</p> <p>昨年の茨城県学生ビジネスプランコンテストでは、創業支援に熱心な茨城高専の先生がおり、優秀なプランを複数提出してきたという。こうしたことから教育人材の確保・育成も必要である。</p>	<p>委員ご指摘のとおり、事業の根本的見直しを図り、引き続き、創業支援に努めて参ります。</p> <p>学生ビジネスプランコンテストには、昨年度を上回る39件の応募があったなか（H29年度は30件）、入賞10件のうち高校生のチームが4件入賞するなど、高校生の興味・関心の高まりも見られますことから、今後も幅広く、活躍できる人材の育成に努めて参ります。</p>
6	ベンチャー企業創出支援事業 (技術革新課) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">寺門委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	<p>筑波大学や産総研と連携し、ベンチャー企業の支援を行う事は、本県の優位性を生かした施策として有効だと考えられる。是非ともこれらの起業の地域への定着化（EX. 5年後の地元定着率）を図っていただくようお願いしたい。</p>	
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	<p>H30に実施した調査の結果がどうなったか分からないが、つくばで集中的に展開している事業を県央・県北地域に波及させるよう検討願いたい。</p> <p>ニーズとシーズの融合は、既存企業の新事業展開においても積極的な取り組みが行われている。ベンチャーの概念にこうした既存企業の取り組みも含めて対応すべき。</p>	<p>優れた技術シーズの発掘・事業化支援について、今年度は水戸市内において事業周知イベントや事業化プランコンテストを実施するなど、つくば地区だけでなく、県央・県北地域への波及に取り組むこととしている。</p> <p>また、ベンチャー企業と既存のものづくり企業との連携に取り組むこととしている。</p> <p>なお、つくば創業プラザの入居企業やスタートアップ支援事業（販路開拓等における専門家によるハンズオン支援）においては、既存企業の新事業展開についても対象としている。本事業についても、必要に応じて同様の取り扱いを検討していく。</p>

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
7	中小企業IoT等自動化技術導入促進事業 (技術革新課) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">寺門委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	<p>KPIとして報告されている「中小企業がIoT活用に取り組む件数」の実績が60件あり、また、事業評価として「本事業による支援企業のうち6件が事業化まで進展」とされているが、具体的にはどのような内容のものなのか。好事例として公表し、本事業に対する関心度を高めるべき。</p> <p>人材育成については、研修受講者をKPIとし、目標を上回る受講者を得られたことで「人材育成についても目標を超える成果を得られた」と評価されているが、研修で習得されたスキル等が企業内でどのように活かされているか等について把握できているのか。本件も同様に公表し、取り組みの浸透を図るべき。</p>	<p>本事業の一環として、優良事例を集めた「IoT活用・導入事例集」を作成しており、IoT導入を検討している企業の参考としていただいているところである。今後も、当該事例集を積極的に活用し、県内企業のIoT導入を推進していく。</p> <p>アンケート結果では「機械の稼働環視・生産管理に活用したい」「遠距離からのデータ収集・制御を行いたい」などの声をいただいております、それぞれの企業でのIoTの活用が見込まれるところ。各企業の内部情報に関わることもあり、公表については検討を要するが、こうした評価を今後の事業に活かし、企業内での次世代技術活用が進むように努めていく。</p>
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	IoTの導入は、もはや特定の企業が導入を進めればよい話ではなく(目標値が低過ぎる)、県内産業の維持・発展のためには産業界に広く普及させなければならないテーマである。中小企業においては、コスト負担というよりも、投資効果測定や導入人材不足がネックであると言われており、取組展開においては、こうした点も念頭に各種産業支援機関や金融機関などにより広範・積極的に連携した取り組みを期待したい。	KPIの達成を踏まえ、さらに県内の産業を発展させるため、今年度はIoT等を活用したビジネスの創出を目的に新規事業を立ち上げたところであり、IoT・AIに係る人材育成から資金的な面も含めたビジネスプランの構築まで、関係機関との連携も視野に入れて支援することしたい。
8	茨城県工業技術センター施設機能強化事業 (技術革新課) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">山路委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	依頼試験等による収入はKPI未達成となったものの、技術者育成人数は増加しており評価できる。中小企業が単独で生産性向上や新製品開発に係わる技術者を育成するのは、マンパワー的にも経済的にも中々難しく、公的な支援機関が中小企業の技術者育成に関わることは非常に重要。	
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる
		意見	今年度新設された「AI・ビジネスモデル研究会」や「コワーキングスペース」など従来の技術開発支援にとどまらず、AIやIoTを活用した新たなビジネスモデル創出の支援に着手されている。県内企業への施設利用PRをさらに進められ、こうした動きの中から地域を牽引するニッチトップ企業が育つことを期待している。	

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
9	繊維・プラスチック産業支援拠点整備事業 (技術革新課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">山路委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	受託試験等の収入、技術者育成、新商品開発支援件数が着実に増加しており、非常に評価できる。茨城県はプラスチック製品の出荷額が多く、プラスチック射出成形等に携わる企業が多く立地している。また、炭素繊維やセラミックス基複合材料など次世代の宇宙航空材料としても期待できる新素材に関わる企業も立地している。本県の強みとなり得る分野のため一層の支援を期待している。	
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる
		意見	近年の企業間連携は、技術力を有した企業が中心となり、開発・製造・加工を他企業が担うというのが一つのトレンド。1社の新製品・新素材の開発にとどまらず、本事業が企業間連携の中核拠点となることを期待する。	本施設を活用し、技術支援や人材育成など、県内中小企業の技術力・競争力の強化に取り組んでいるほか、今年度より新たなビジネスの創出にも取り組んでおり、引き続き、企業間や産学連携等を促進し、本県の強みを生かした産業を育成してまいります。
10	働き方改革・生産性向上促進事業 (労働政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">木ノ本委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	KPIの達成状況から考えれば「有効」とは言い難い面もあるが、初年度のため、個社の取組方策(計画)の成果が表れるであろう2年目に期待。 ただし、KPI②及び③の未達成理由として記された人手不足解消を待つ猶予はなく、人手不足等の社会情勢を前提とした事業展開や支援策の見直しが不可欠と思料。	KPI②及びKPI③の達成のためには、県内企業の意識醸成のみでは成果が出ないと考えており、今後は、企業に対し、好事例を示す等、具体的な取組の促進につなげる必要があると考えております。 人手不足等の社会情勢を十分考慮し、働き方改革推進協議会を主体として、所定外労働時間の削減などの具体的な取り組みにつながるよう、企業に対する支援を検討してまいります。
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	人手不足を前提条件とする見直しが急務。 県内のあらゆる法人が取り組むべき課題ながら、モデル創出事業のためか、支援対象社数が極めて限られる。事例発表会以外に事業の波及効果・成果普及を最大化する手法をあらかじめ検討すべきと思料。	人手不足の影響が顕著である小規模な事業所をコンサルティングの対象とするなど、県内企業にとって、より身近となるモデル企業の創出を図ってまいります。 3年目においては、モデルとなる事例の普及が重要と考えておりますので、県のホームページや事例集の配付、いばらき働き方改革推進協議会を通じての周知に加え、さらに県内企業に届くよう、取組経過を含めた成果事例の普及に努めてまいります。

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
11	地方創生人材還流・定着支援事業 (労働政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">西野委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	本事業は、若年者の転出超過が本県の課題である中、重要な事業であり、また、就職に関する社会状況からも成果を上げるのが難しい分野であると認識している。諸事業に取り組んでいなかった場合、さらに低い数字が出てきていた可能性もあることから、一定の成果を挙げていると評価する。	
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)を行うべき	事業内容の見直し(改善)を行うべき
		意見	各事業については概ね順調に進んでいるということだが、県外特に首都圏の大学等に進学した人、首都圏で就職した人等のUIJターンに関しては、企業とのマッチング等のほか、今後はリカレント教育の活用等も考えられる。また県の魅力の発信、関係人口を増やす取り組みなど、関連する他の事業等と連携し、積極的な取り組みを継続していただきたい。	
12	茨城県就職支援奨学金助成事業 (労働政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">山路委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	若年層の人口流出は県全体で見ても人口減少の主要因であり、人手不足の深刻化している県内企業の人材確保の観点からもUIJターンの推進は重要度の高い事業。支援対象認定者100名を定員として応募者が31名と大きく下回っているため、より一層学生への広報をお願いしたい。	本事業については、(独法)日本学生支援機構の実施する「給付奨学金」が今年度拡充されたことに伴い、事業内容の見直しを検討しているところであり、見直し後早急に、対象者及び関係機関への広報、制度説明会等を行うなどPRに注力し、応募者の増加に繋げていきたい。
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	学生が選ぶ就職先は1つのため、より魅力的な条件の企業が県外にあれば県外企業に就職することは致し方ない行動となる。奨学金の返済支援は学生にとって、県内企業を就職先に選ぶ大きな後押しになりえるし、奨学金返済で苦慮する方が多いことからニーズも大きいと考える。今後よりPRに力を入れて進めてほしい。	本事業については、事業内容の見直しを検討しているところであるが、今後、学生にとって、より茨城県に還流・定着したくなるような支援内容を整備することで、県内へのUIJターンの推進を図っていきたい。

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
13	いばらき地方活力向上地域等特定業務施設整備促進プロジェクト (計画推進課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">寺門委員</div>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった
		意見	<p>KPI①の説明の中で、「本社機能移転を行った企業の中でも、(中略)要件的に活用できなかった企業が少なからず存在」とあるが、具体的にはどのような点が要件に合致しなかったのか。こうした要件を改善(緩和)することで、さらに使い勝手のいい制度にしていく必要はないのか。</p> <p>事業評価(中間評価)欄をみると、本社機能移転数157件のうち27件(2割弱)のみが特定業務施設整備計画認定先である一方で、これを雇用者数でみると1,421人の新規雇用のうち1,264人(9割近く)が計画認定先となっている。このギャップの要因は何か。ここに制度改善等のヒントは見いだせないか。</p>	<p>(1) ・企業が本制度を活用できなかった要件として特に多かったのは、移転・拡充(以下、移転等)先が対象外地域であったことである。 ・本県においては、首都圏整備法に定める近郊整備地帯(龍ヶ崎市ほか9市町)について、全域が本制度の対象外地域となっている。 ・また、企業立地に適したエリアとして国の認定を受けた地域(=地方活力向上地域)が本制度の対象地域となるが、その認定に関する要件(人口規模、産業集積度等)は、国の制度で定められたものである。 ・そこで、本県では、本社機能の移転等を促進するため、対象外地域への移転等であっても、県税の減免を行う独自の支援措置を設けているところである。(=県税条例事業計画の認定) ・さらに、上記の対象地域に関する要件以外にも、雇用者数や対象施設といった要件により本制度を活用できなかった事例も発生しており、その改善(緩和)に向けては、全国知事会からも国へ提言を行っている。</p> <p>(2) 「特定業務施設整備計画の認定件数(27件)」が「本社機能移転数(157件)」の内数である一方、「①雇用創出件数(1,264人)」は「②就労機会の創出(1,421人)」の内数となっていないため、単純には比較ができないが、本事業は就労機会の創出に大きく貢献していると考えている。</p> <p>(①及び②の算出方法) ①雇用創出件数 = 新規雇用者数 + 県外からの移転者数 + 県内での移転者数 (※国の算出方法と同じ) [対象企業: 27件] ・特定業務施設整備計画の認定を受けた企業(27件) ②就労機会の創出 = 新規雇用者数 + 県外からの移転者数 (※本県独自の算出方法) [対象企業: 157件] ・特定業務施設整備計画の認定を受けた企業(27件) ・県税条例事業計画の認定を受けた企業(6件) ・上記認定を受けずに本社機能移転を行った企業(124件)</p>
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき	特に見直しをせず、事業を継続すべき
意見	<p>IT系企業などでは、本社機能等を移転する場合でも、オフィスを自社保有しないケースが多くみられる。こうした中、県内にはこれら企業が賃借できるオフィスビルが不足しているという状況がある。既にオフィスビル建設にかかる支援策が設けられていることは承知しているが、県内の市場性からも不動産系事業者がオフィスビルを保有するハードルは高いという現状もあることから、こうしたオフィスビル建設にかかる支援について、現状以上に拡充させること等も検討願いたい。</p>	<p>・業務系オフィスの誘致にあたっては、市町村や地元金融機関などを通じて、利用可能な物件の情報を収集するとともに、企業から、適当なオフィスビルが少ないなどの意見をいただいていることから、平成31年度には、賃貸用オフィスビルを整備する事業者に対する補助金を新たに創設したところである。</p> <p>(補助金概要) オフィスビル整備促進補助事業 賃貸用オフィスビルの整備費用を本社機能の入居実績に応じて支援 ・補助対象: 賃貸用オフィスの整備費 ・補助率: 15%(上限3億円) ・対象地域: 県内全域</p>		

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
14	DMO観光地域づくり推進事業 (観光物産課) 山路委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	海外向けの観光プロモーション等の強化により「海外からの観光ツアー催行数」が目標を大きく超える実績となっていることから、インバウンド向け観光産業の振興に成果を上げられていると評価する。宿泊観光入込客数、外国人旅行者数の増加のためには、観光振興に取り組む市町村だけでなく民間の事業者等とも連携を強化されると良いのではないかと。	日本版DMOである県観光物産協会では、インバウンド部会などの取組を通じて、市町村や民間事業者等との地域間連携を進めているところです。県としましても、民間事業者の自由なアイデアや多彩なノウハウを実際の誘客に繋げられるよう、県観光物産協会と民間事業者とのより一層の連携・協働を支援してまいります。
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	数年前にブームとなった訪日中国人による爆買いが落ち着きをみせたように、特にアジア圏からの観光客の旅行形態は「モノ消費」から「コト消費」に変化している。ゴルフ場と宿泊施設、茨城ならではの食事をパッケージにすると茨城の魅力的な商品になり得ると思う。また昨今話題となっているキャッシュレス決済は、外国人観光客を取り入れるという視点からも、必要不可欠になってきている。キャッシュレスを含めた多種多様な決済環境への対応支援を図ってほしい。	本県は全国有数のゴルフ立地県であり、茨城空港はもとより、成田空港からのアクセスが良いことから、ゴルフツーリズムを活用した海外からの誘客が大いに期待でき、宿泊施設や食(地酒など)などを組み合わせることで、さらに魅力的な商品造成が図れるものと考えております。今後、ゴルフツーリズムのポテンシャルを最大限に活かし、海外からの一層の誘客促進を図ってまいります。また、キャッシュレス決済等については、外国人観光客の利便性向上や消費拡大の観点から重要と考えております。そのため庁内関係課と連携し、県内観光事業者に対しキャッシュレス決済導入に向けた働きかけを行ってまいります。
15	筑波山・霞ヶ浦広域エリア観光連携促進事業 (観光物産課) 山路委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	高まる健康志向の中、筑波山、霞ヶ浦という茨城県の大きな自然資源を最大限、観光振興に活用していただきたい。登山マップや土産物の商品開発支援の成果は今年度ということなのでKPIは未達ではあるが、今年度の成果に期待する。市町村との連携、官民連携を一層密にし、引き続き注力してほしい。	
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	登山は山ガールという言葉も定着しているように、若い女性を含めた老若男女問わず楽しむ人の多いアクティビティ。日帰りではなく、茨城の食や夜間に訪れることの出来る美術館など夜の観光を充実させ、筑波山への登山や霞ヶ浦の観光帆引き船とともに楽しんでもらう仕掛けをさらに進めていただきたい。	2019年度の取組としまして、筑波山・霞ヶ浦地域の魅力を活かした宿泊型ツアープログラムの開発支援を行っているところです。いただいたご意見を参考に、地域内の様々な観光資源と宿泊施設を結び、滞在時間の延長に繋がるような仕掛けづくりを推進してまいります。

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
16	市民力による歴史遺産活用まちづくりプロジェクト (観光物産課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">山路委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	観光消費額が増加しているため取組の成果は現れていると評価できるが、観光消費額・地域経済波及効果額が目標に達成していないため、一層誘客に向けて取り組んでいただきたい。「ロコミ」も誘客のためには重要なツールであるが、県内の方から記念館について聞いた記憶がない。笠間市や茨城県内の来場者増を目指すのも一つの手ではないだろうか。	現在公開中の映画「アルキメデスの大戦」のロケ地となっており、当課ではロケ地を巡るバスツアーの参加者を募集しており、また、県庁と記念館においても、原作となった漫画の原画や小道具等の展示を行っておりますが、なお一層施設のPRやロケ誘致に取り組み、誘客に繋げていきたいと考えております。
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	日本最大規模で現存する戦争遺産の保全・活用は非常に意義のあることだと考える。歴史的価値もあり、「永遠の0」など映画のロケ地として使用されたという実績もある史跡のため、より来場者の多い施設になることを期待する。施設改修やPRとともに当該施設などの文化財の保全・活用を中心となって担える人材の育成もお願いしたい。他地域との周遊性という観点からは、土浦市の料亭 霞月楼とのセットなども歴史ファンには魅力的なツアーになり得るのではないかと。	隣接する司令部庁舎は、昨年12月に笠間市の指定史跡に指定されまして、専門的な人材の育成や継承事業を進めております。霞月楼等、歴史的に意義のある施設等との連携についても、今後ツアー造成に向けて検討してまいります。
17	水郷筑波・サイクリングによるまちづくりプロジェクト (地域振興課) ※推進交付金と拠点整備交付金の両方を活用した事業 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">寺門委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	りんりんスクエア土浦の整備効果は大きく、りんりんロード利用者8万1000人をはじめ各指標にその効果が現れている。健康指向と地域観光資源活用をリンクさせた有効施策であり、引き続きJR等と連携しサイクリストの誘客や、ロード沿線の消費拡大に努めていただきたい。	
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる
		意見	今後は、事業目的にも示されているとおり、来訪者による地域内での消費行動の誘発への注力が必要であり、そのための手段としてロード沿線施設のキャッシュレス化の推進が利用者利便の観点からも有効と考える。 「日本一の長さを誇るサイクリングロード」との裏腹にあるのかもしれないが、単調な景観等の問題のみならず、トイレ・休憩スペースやサイクリングロードとしての統一性の確保など、魅力やブランドイメージ向上に向けた、インフラ面での課題も残っていると思われ、継続的な行政の関与を期待する。	

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
18	安心して暮らせる生活環境づくり 総合支援事業 (地域振興課, 交通政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">西野委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPI達成に向けて有効であった
		意見	<p>短期間に成果を挙げることは難しい事業であり、毎年、関係者が苦勞、くふうを重ねながら進められている取り組みであることは理解し、評価している。地方創生、地域活性化のために必要な事業なので継続的に取り組んでいただきたいが、事業目的にある「市町村、住民、大学等との連携」はどの程度、進展したといえるのかといった部分を含め、現状、目標の成果にはまだ届いていないと言わざるをえないと考える。</p>	<p>公共交通の運行内容の検証や見直し、利用促進等については、国や自治体、交通事業者、地域住民、大学等からなる市町村の交通会議で協議しながら関係者が連携して取り組んでいる。特に、常陸大宮市の鉄道バス乗継利便性向上モデル事業では、地域住民や利用者、大学、学校関係者、民間事業者からなる「公共交通システムマネジメント常陸大宮地区協議会」を設置し、連携して利用促進等に取り組んでいる。</p>
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)を行うべき	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させるべき
		意見	<p>本事業では、各地域や自治体が現状をよく分析し、当該地域の目指す方向性・必要性にあわせて的確な取り組みを進めて行くとともに、地域横断型を含む県全体での事業推進も望まれる。研究者・産業界等との連携、民間との協働をさらに進める必要もあると考える。すぐには効果が表れない難しさがあるが、見直しを行いながら継続していただきたい。</p>	<p>ご意見を踏まえ、市町村や交通事業者、大学等で構成する「地域公共交通確保対策協議会」等において、地域横断的な取組や民間との協働など、課題解決に向けて取り組んでまいりたい。</p>
19	茨城版 持続可能な地域づくり～ 「広域公共交通ネットワーク」プラス 「小さな拠点」 (交通政策課) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">西野委員</div>	事業の評価	本事業が総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPI達成に向けて有効であった
		意見	<p>KPIにおいて、乗り合いバス・タクシーの利用者数が増加しているが、具体的にどのような対策を講じた結果、この数値に結びついたのかということがいただいた資料では十分理解できなかった。広域バス路線の運行はニーズにもかなっており、地域にとって必要な事業であったものと評価できる。</p>	<p>広域路線バスを含め利用者増加に向けた取組としては、バス事業者や市町村とともに、沿線の住宅団地での時刻表やクリアファイル等のポスティングや高校の入学説明会においてバス利用の案内等を行うなど、利用促進に取り組んできたところであります。また、市町村におけるコミュニティバスや乗合タクシーなどが充実したことにより、利用者増につながったものと考えております。</p>
		今後の方針	事業内容の見直し(改善)を行うべき	事業内容の見直し(改善)を行うべき
		意見	<p>広域路線バスの実証運行は本事業によって実施され、効果も見られている。今後も地域協議会等で地域の要望や実情をよく汲み上げ、改善しながら継続していただきたい。</p>	<p>県内4地域に設置した地域協議会では、市町村や県、国、交通事業者、学識経験者が参画しそれぞれの立場から地域の実情に応じたルートの見直しやダイヤの変更などの議論を行ってきたところ。今後も引き続き当協議会を活用し、広域路線バスの運行内容の検討や既存の公共交通の利用促進策などについても協議・検討してまいります。</p>

	事業名	項目	担当委員による事前評価	担当課の評価及び委員の意見に対する回答
20	茨城県立県民文化センター施設整備事業 (生活文化課) 西野委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	拠点整備交付金を活用して練習室の増築を行い、県民文化センターの機能強化を図って本県の文化の創造、地域の活性化を進めるという事業であり、文化芸術の振興に意義のあるものだと考える。練習室の評価が高まれば継続して一定数の利用も見込めると思うが、新しい施設が完成し使用が開始された平成30年度のタイミングに、周知、PRが十分な成果を挙げられなかったことは残念である。	
		今後の方針	事業の見直し(改善)を行う	事業の見直し(改善)を行う
		意見	平成31(令和1)年度は予算計上がなく、SNS等や茨城文化団体連合等を通したPRに切り替えるとのこと、練習室の利用を増やす効果が得られるか注目していきたい。また、練習室の利用が増えればそれで十分ということではなく、文化活動の拠点としての情報発信、利用者間の交流による文化活動の促進といった目的を推進する現在、今後の事業や取り組みについて教えていただきたい。	今年度から練習室でのピアノの貸し出しを開始するなど、利用しやすい備品整備を行っているが、今後も音楽、ダンスなど多様な文化活動に対応できるよう文化活動の拠点としての情報発信、利用者間の交流による文化活動の促進のため、まず練習室の環境整備を中心に利用者の利便性向上・利用促進に取り組んでいきたい。
21	第2のふるさと・いばらきプロジェクト推進事業 (計画推進課, 県北振興局, 住宅課) 西野委員	事業の評価	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった	本事業が総合戦略のKPIの達成に向けて有効であった
		意見	3年の間に各事業内容を追加し、くふうしながら取り組まれた事業であり、KPIの目標数値を上方修正しながら進めてこられたことは評価される。 「ふるさと県民登録」については、新規の登録者数が伸びなかったことが心配である。これまでどのような人たちが登録したのか、どういう利用をしているのか、ということは調査・分析できているのだろうか。他県や市町村等にも類似の制度がある中で、「茨城県のふるさと県民制度」が話題・評判になり、登録したいと思っただけのような内容であってほしい。	ふるさと県民登録者につきましては、本県に所縁がある都内企業等の社員とその家族が最も多く、次いでWEB、イベント、都内相談窓口において登録いただいております。また、県内の協賛施設に対して利用状況に関するアンケート調査を実施した結果、宿泊施設、観光・レジャー体験施設、飲食店で多く利用されております。 引き続き制度のPRに加えて、登録者に対する移住・観光関連情報の発信や、魅力的な協賛施設・特典の拡大に向けて取り組んでまいります。
		今後の方針	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる	事業が効果的であったことから、取組の追加等さらに発展させる
		意見	「ふるさと県民登録」については、登録者と今後どのような関係が構築できるかが重要である。この制度から、そこへステップアップしていくような事業をぜひ推進いただきたい。その点で、ターゲットを”個人”から”企業”へ広げられたことは非常に興味深い。同様に、学校等の教育機関や諸団体等との関係づくりも考えられるのではないかと思う。	